SHIPS MAG paper

シップスにまつわるヒト・モノ・コト

ISSUE 16 DECEMBER 2016

気分で選ぶ、着こなしのヒント

STYLE BOOK 2016 WINTER

1 再始動した話題のプロジェクトに迫るMIZUNO CREATION × SHIPS
2 雑誌『VERY』が 今、30代女性に刺さるワケ「基盤のある女性は、強く、優しく、美しい」
3 話題の“泊まれる本屋”で、至福のおこもりタイムを。本とくつろぎ服で過ごす、冬時間。
4 大切な人の暮らしを彩る、SHIPS Daysのクリスマスギフト
5 旬のファーアイテム、一気見せ! Fur Collection BEST 25!





1
冬の夜、英国テイストをプラスして歩く



2
わたし的パワースポット巡りで身も心もとことん開放的に！



3
楽しみにしていた本の主人公にシンパシーを感じる休日の朝



4
イタリアから見た英国風がいまの気分



5
7”レコードをディグる週末



6
ルーズ×ルーズが今っぽい！ときにはトレンド100%を楽しんで

気分で選ぶ、着こなしのヒント

1 SHIPS MEN

冬の夜、英国テイストをプラスして歩く

冬になるとブリティッシュを気取りたくなる。春夏秋冬でスタイルが変わるのはプレてると言われるかもしれないけれど、四季があるからこそできる技だと思っている。そして今シーズン、つい一目惚れしてしまったのがこのモダンシルエットのトレンチコート。昨年からブリティッシュトラッドがトレンドだけれど、ベーシック直球じゃつまらない。あくまでも英国“風”でありながら、シルエットは今どき。ハットやストールは、深いオリーブカラーで全体的にシックな雰囲気に。そして今日は知り合いの飲食店のオープニングパーティ。長い夜になりそう。

コート ¥118,000(+tax)／LARDINI, スーツ ¥125,000(+tax)／Valditaro, タートルネックセーター ¥32,000(+tax)／JOHN SMEDLEY, シューズ ¥68,000(+tax)／Tricker's, ハット ¥22,000(+tax)／Anthony Peto, マフラー ¥15,000(+tax)／SHIPS, グローブ ¥49,000(+tax)／DENTS

2 SHIPS WOMEN

わたし的パワースポット巡りで身も心もとことん開放的に！

今日はとことん自分のために時間を使うと決めた。朝から仲良しのヘアサロンへ行き愚痴を聞いてもらいつつ、ヘアカラー&ヘッドマッサージ。その後、近くのスパで120分のボディトリートメントのコースを受ける。遅めのランチを済ませたら、とある巨匠が撮影したというヌードの写真展へ。その美術館はもともと凄く好きな場所だったから、ちょっと遠いけど久しぶりに行ってみることに。最近働き詰めでお疲れ気味だったけど、歩みを進めるごとになんだか内側からエネルギーが湧いてくる感じっていうのかな。今日はわたし的パワースポットを回れた気がする。

チェスターコート ¥87,000(+tax)／MAISON FLANEUR, デニムジャケット ¥28,000(+tax)／upper hights, ベロアスカート ¥40,000(+tax)／Mes Demoiselles, ショートブーツ ¥86,000(+tax)／ALUMNAE, ピアス ¥9,000(+tax)／La Soeur, バッグ ¥23,000(+tax)／manipuri

3 SHIPS Days

楽しみにしていた本の主人公にシンパシーを感じる休日の朝

最近、ずっと働き詰めだったから、今日だけは誰にも邪魔されず、買って読まずに置いてあった新刊を読みふけりたい。いつもは自宅のコーヒーメーカーで作ったコーヒーで一日を始めているけど、今日はちょっとだけ遠出して、朝の光が気持ちよく差し込むコーヒースタンドへ行くとしよう。そういえば、新刊を読む前に目を通した書評でも、主人公はコーヒーをこよなく愛する、ネコ好きの働き者だったような。

セーター ¥17,500(+tax)／HARLEY, ニットパンツ ¥15,500(+tax)／STAMP AND DIARY, ブーツ ¥21,000(+tax)／Amb, ニットキャップ ¥7,900(+tax)／iliann lobe, バッグ ¥22,000(+tax)／TAMPICO

4 SHIPS MEN

イタリアから見た英国風がいまの気分

クリスマスプレゼントでもらったボルドーカラーのタイ。いろいろと合わせてみたけれど、やっぱりブラウン系のアイテムと相性がいいのは明らか。もともとはイタリア系が好きなんだけど、最近はそこにイギリスの感覚をプラスするのが楽しい。ラベンハムのジャケットはそんな気分を盛り上げてくれる格好のアイテム。正統派なのに堅苦しくない、大事なミーティングもこれで問題なさそう。今日の仕事のあとは彼女とのデート。タイが似合っているところも見せないとね。

コート ¥59,000(+tax)／LAVENHAM, スーツ ¥135,000(+tax)／LARDINI, シャツ ¥20,000(+tax)／GUY ROVER, ネクタイ ¥18,000(+tax)／Nicky, シューズ ¥111,000(+tax)／CROCKETT & JONES for SHIPS, マフラー ¥6,500(+tax)／GILBERT WILSON OF HAWICK for SHIPS, グローブ ¥49,000(+tax)／DENTS, バッグ ¥45,000(+tax)／jmc

5 SHIPS JET BLUE

7”レコードをディグる週末

7インチに手を出したら末期だと先輩に言われていたけど、その意味がわかってしまった今日この頃。中古レコード屋に行っても、まずは7インチコーナーから掘り始める始末。しかも、レア盤が多いから出費も増えるし…。だから、洋服はいつもほぼこのスタイルで固定。ラクでシルエットもきれいなガウチョパンツは自分のトレードマークになりつつある。キャップはよく行くJAZZY SPORTとDecades Hat Co. のWネーム。今日もいい収穫があったから、早く家に帰って思いっきり音を楽しみたいところ。

ボアシャツ ¥41,000(+tax)／Adsum, フーディ ¥27,700(+tax)／Adsum, ガウチョパンツ ¥10,000(+tax)／SHIPS JET BLUE, ソックス ¥2,000(+tax)／Whimsysocks, チャッカブーツ ¥28,000(+tax)／PUNTO PIGRO, キャップ ¥6,000(+tax)／Decades Hat Co. × JAZZY SPORT, サコッシュ ¥12,500(+tax)／Hombre Niño

この記事は www.shipsmag.jp から抜粋してまとめたものです。













12 Khaju

あの映画のヒロインが少し大人になったバイカラーコーデ

ボルドー×ブラックって、なんだか大人の組み合わせ。どちらもダークトーンで一歩間違うと地味になりがちだから、なかなかビックアップすることがなかったけど、大振りなグレンチェックのミニスカートがその先入観を払拭してくれた。存在感のあるチェック柄を挟むことで、トラッドだけどメリハリのある着こなしを実現。映画「LEON」のマチルダを意識して羽織った、リバーシブルのMA-1で、ちょっぴりクールに！

リバーシブルブルゾン ¥21,000(+tax)／KIFFE, リブセーター ¥9,000(+tax)／Khaju, スカート ¥13,800(+tax)／Khaju, ブーツ ¥16,000(+tax)／gaimo, ニットキャップ ¥9,800(+tax)／Benelli Montacone, ブレスレット ¥6,000(+tax)／AMORETT

11 SHIPS Days

クリアな空気を感じながら、いつものスーパーへ

寒いのは苦手だけど、空気が張り詰めた冬の雰囲気は好き。これから近くのオーガニックスーパーまで買い出しへ。この季節はダウンジャケットとニットキャップが欠かせない。首もとまでしっかり隠れるし、いかにもなデザインじゃないところも一目惚れの理由。アースカラーでまとめてシンプルに。長く愛用できるものがモノ選びの基準なんだ。吐く息の白さに気分が落ち込みそうになるけど、いつもの道を歩く。この街にもあと数ヶ月すればまた春がやってくる。そう思えば冬も愛おしい。

ダウンジャケット ¥35,000(+tax)／SHIPS Days, セーター ¥28,000(+tax)／BATONER, パンツ ¥7,400(+tax)／SHIPS Days, シューズ ¥20,000(+tax)／Amb, ニットキャップ ¥4,320(+tax)／SHIPS Days, バッグ ¥13,000(+tax)／MYSTERY RANCH

10 liflattie ships

ちょっと尖ったワントーンコーデで新しい自分を開拓！

モコモコで暖かいニットに、落ち感がきれいなパンツを合わせて。ブラウンとグレーという中間色って、いつもは脇役になりがちだけど、今日は思いっきり主役としてスタイリング。ポイントは首にぐるぐる巻きにした大判のストール。素朴な雰囲気を備えてるけど、どんなスタイリングにもアクセントになってくれるから重宝しているんだ。野暮ったさも、異素材ミックスで払拭して。

ハイネックプルオーバー ¥8,300(+tax)／liflattie ships, ブラウス ¥29,000(+tax)／enrica, パンツ ¥14,800(+tax)／liflattie ships, ソックス ¥1,800(+tax)／liflattie ships, スリッパサンダル ¥13,800(+tax)／MOHI, ストール ¥32,000(+tax)／Faliero Sarti

9 SHIPS WOMEN

ウィンドウに飾られたコートによって、思わぬ小物がこの冬、大活躍の兆し

言うまでもなく今日の主役はクラシックなチェックのステンカラーコート。前ボタンをきちんと閉めて着ると、ちょっとだけコクーンっぽいシルエットになって優しくソフトな印象に。そこに去年までは、いまいちピンと来てなかったベレー帽をプラスして。新しいアイテムをワードローブに加えることで、今までは目に留めていなかったアイテムに急にスポットライトが当たる感覚、なんだかちょっぴり得した気分♪

コート ¥50,000(+tax)／SHIPS, デニムパンツ ¥23,000(+tax)／upper hights, ショートブーツ ¥86,000(+tax)／ALUMNEA, ベレー帽 ¥5,000(+tax)／SHIPS, ピアス ¥8,000(+tax)／STALACTITE, バッグ ¥30,000(+tax)／IACUCCI

8 liflattie ships

「私の冬スタイル」に欠かせないアイコニックなコートをまとって

ちょっとだけゆとりがあって、どこか懐かしさ漂う。私が思い描く、アイコニックなチェスターコート。なかなかいいものに巡り会えなくて、いつも寒くなってから慌てて買ってるけど、今回は寒くなる前に手に入れられた。絶妙な大きさのラペルに肩の落ち具合、ひざに掛かるか掛からないか程度の着丈。上から下までパーフェクトな一枚。この冬はちょっとアクティブに、ニットキャップとスニーカーを合わせて。

チェスターコート ¥27,000(+tax)／liflattie ships, セーター ¥13,000(+tax)／liflattie ships, スカート ¥14,800(+tax)／liflattie ships, ソックス ¥1,800(+tax)／liflattie ships, スニーカー ¥13,800(+tax)／NEW BALANCE, ニットキャップ ¥4,500(+tax)／HIGHLAND 2000

7 SHIPS JET BLUE

低音の沼から宇宙へ飛んでいく感覚が好き

とにかくぶっといベース音がかかったら、スピーカーの前は渡さない。リバーブのかかったドラム、どこに連れて行かれるかわからない奇抜なサンプリングが絡み合えば真っ暗な宇宙にひとっ飛び。だから、VJよりもライティングで盛り上げるハコのほうがいい。そんなタフなサウンドにフライトジャケットは欠かせない。タイトな気分でいたいからパンツはいつもスキニー。イエローのキャップは自分のアイコン。スピーカーの前にイエローキャップが見えたら間違いなくオレ。最近はDJもするけれど、いつまでも熱心な客でいたいと思う。それがクラブを愛する者のマナーだよ。

フライトジャケット ¥92,000(+tax)／HAUD, セーター ¥10,000(+tax)／SHIPS JET BLUE, スキニーパンツ ¥8,500(+tax)／Örjan Andersson, ブーツ ¥50,000(+tax)／wanna maria fiori, コーデュロイキャップ ¥2,700(+tax)／SHIPS JET BLUE

6 Khaju

ルーズ×ルーズが今っぽい！ときにはトレンド100%を楽しんで

最近、まわりでも話題になっているリラックスコーデ。確かに、ランジェリーとかもノンワイヤーで高機能なものが続々と発売されたり、女性ファッション自体が「そういうムード」に傾倒して行っているのかも。今までだったらユルめのトップスには、細めだったり、コンパクトなボトムを合わせがちだったけど、上下ともにオーバーサイズで裾を引きずっちゃうくらいルーズなシルエットが今っぽい。女友達とも丁度そんな話をしてたところだったから、今日のランチに早速実践してみよっと♪ハットやバッグ、ストラップシューズと、きちんと感のある小物で引き締めたのがポイント！

ニットカーディガン ¥32,000(+tax)／CLANE, 2wayリブセーター ¥7,500(+tax)／Khaju, ワイドデニムパンツ ¥41,000(+tax)／AALTO, パンプス ¥16,500(+tax)／Bisue, ハット ¥6.900(+tax)／Benelli Montacone, ピアス ¥6,000(+tax)／Serefine, ストール ¥7,900(+tax)／TWEEDMILL, バッグ ¥8,500(+tax)／Khaju

photo : Kenichi Yamaguchi text : Eizabro Tomiyama, Wakako Matsukura



SHIPS MEN

1 PEOPLE

photo : Kenichi Yamaguchi
text : Shigeo Hasegawa

再始動した話題のプロジェクトに迫る

MIZUNO CREATION × SHIPS

2012年に惜しまれながら活動を休止した、ファッションとスポーツの融合を掲げた先鋭的なブランド、「ミズノ クリエイション」。実は、2016秋冬シーズンに、SHIPSとのエクスクルーシブプロジェクトとして復活したことをご存知だろうか？ 都市生活をサポートする機能的でスタイリッシュなラインナップは、以前より格段と実用性が増し、それでいてファッション好きも納得できるデザイン性はしっかりと継承されている。同企画に携わる、デザイナーの渡辺 拓氏、ミズノ株式会社 グローバルアパレルプロダクト本部の渡邊 雅彦氏、SHIPSカジュアル部門MDの篠原 渉の3人に、このスペシャルな取り組みの意図とヴィジョンについて語っていただいた。



「2005年当時は、ファッションとスポーツの融合というのは珍しかった」

——ミズノとSHIPSがゼロから一緒にモノづくりをしたのは、今回が初めてということですが、この企画の目的はどこにあるのでしょうか？

篠原（以下S）「今現在、ファッションとスポーツのミックスというトレンドが盛り上がりを見せていますよね。弊社でもSHIPS ACTというスポーツカテゴリーを発足させています。そんな動きのなかで、かつて活動していたミズノ クリエイションこそが、現状のシーンにマッチしているブランドだったと、社内でもたびたび話題になることがあったんですね。それで、まず当時デザインを手掛けていらっしゃった渡辺さんに、なんとか復活できないかとご相談したのが始まりなんです。渡辺さんを通してミズノさんにもお話をしていただき、了承を得て正式にこのプロジェクトがスタートすることになりました」

——ミズノ クリエイションとしては2012年以来、4年ぶりの復活ということになりますが、そもそもどんな位置付けのブランドだったのでしょうか？

渡邊（以下W）「ミズノ クリエイションは2005年にスタートしましたが、当時は、スポーツや競技に特化したミズノのイメージとは異なった、新しいチャンネルを強化する目的で作られました。チームウェアが中心だったミズノのアパレルとは違って、よりパーソナルなライフスタイルに訴求していくというプロジェクトでした。コンセプトは機能とファッションの融合です」

——なるほど。デザインとしては、どういった点に重きを置かれていたのでしょうか？

渡辺（以下T）「2005年当時は、スポーツとファッションの融合みたいなものを標榜しているブランドは、Y-3ぐらいしかなかったと思うんですね。アディダスのステラ・マッカートニーが発表されたのもその後ですし。そういう状況ではありましたけど、自分はそもそもファッション畑の人間でありながら、スポーツというカテゴリーにも前々から興味があったんです。機能的なデザインはもともと好きでしたし、デザインにそういった要素をしっかり盛り込んで、ファッションとして消化させようと思っていました」

——当時は、ファッションとスポーツを融合したアプローチは、まだまだ珍しくて注目度も今ほど高くはありませんでしたよね。

T「そうですね。でもミズノさんと思考錯誤を繰り返しながら進めていくなかで、多分こういうものが、今後シーンでも主軸になっていくんだろうな、とはなんとなく肌で感じていたんですよ。そんななかで、当時の自分としては、ファッションと機能をうまく合わせて、みんながあんまり見たことのない、新しい切り口を、どんどん見せていくほうが面白いなと思っていたんですね。それで、結構突飛なデザインもいろいろとやっていたんです。でも逆にそれが面白がられた部分も大きかったですし、幸いにも先駆的な存在として見られることも多かったです」

「ビジネスマンが満員電車で着ても快適に過ごせます」

——確かに、ファッション的な注目度が高かったですよね。今回のクリエイションは、それと近いものなのでしょうか？

S「弊社からのリクエストとしては、ミズノさんの機能素材を効果的に使用したものを作りたいというのが一番でした。スポーツブランドのファッションへの移行は各社やられていると思うんですけど、機能はそこまで追求していないものが多いのが現状です。そうではなくて、ミズノさんのしっかりとした機能性を良い意味で生かしたものを作りたかったんです。あと、かつてのミズノクリエイションがやっていたものを、そこまでの機能は不必要ですので。ただ、自分は、かつて7年間ミズノクリエイションをやらせていただいたので、例えばブレスサーモの糸を使って、どのぐらいなら暑くなり過ぎるのか、または効果がないのか、いろいろと学んだ部分はあります。その経験をベースに、多分これならビジネスマンが電車に乗っても汗をかくことはないだろう、でもそのまま外に出ても寒くはないだろう、という…。（続きはウェブサイトで！）

続きはウェブサイトで読めます！
http://www.shipsmag.jp/
シップスマグ 検索



SHIPS MDの篠原 渉。スポーツラインのSHIPS ACT（シップス アクト）をはじめ様々なオリジナルプロジェクトに参画している。ミズノ クリエイションの新たなブランドイメージを構築するのが、今回の企画の大きな目的の一つだ。



ミズノ株式会社 グローバルアパレルプロダクト本部の渡邊 雅彦氏。デザイナーの渡辺氏と二人三脚でミズノ クリエイションを作り上げてきた企画担当者。今回も機能面の追及に尽力している。



かつてのミズノ クリエイション及び今回の企画のすべてのデザインを手がける渡辺 拓氏。ppcmのデザイナー等を経て、多くのプロダクトデザインにも携わってきた経験豊富なクリエイターだ。

PRODUCTS

16 FW MIZUNO CREATION exclusive for SHIPS



01

らせん状のポリエステル繊維“テックフィル”を採用したジャケット＆パンツ。見た目はスマートでもダウンに匹敵する保温性があり雨にも強い。洗濯機で洗えるというのが、最大の魅力だ。ジャケット ¥38,000(+tax)／MIZUNO CREATION exclusive by SHIPS, パンツ ¥21,000(+tax)／MIZUNO CREATION exclusive by SHIPS

02

機能素材“ブレスサーモ”を採用したコート。汗をかいても水分を吸収して熱に変換するため、薄手でも驚くほど暖かい。膝丈設定でスーツの上にも難なく合わせられる。コート ¥47,000(+tax) ／ MIZUNO CREATION exclusive by SHIPS





03

ブレスサーモ仕様のフリースパンツ。切り替えを施したスタイリッシュな意匠は、リラックスカジュアルのアクセントとしても一役買ってくれる。ウエスト部分には便利なアジャスターを装備。パンツ ¥22,000(+tax)／MIZUNO CREATION exclusive by SHIPS

04

重ね着に便利なフリースベストにもブレスサーモが採用された。フードはジップで簡単に着脱できる。スタンドカラーはコンパクトで、コートのインナーとしても取り入れられる。ベスト ¥21,000(+tax) ／ MIZUNO CREATION exclusive by SHIPS





05

無駄をそぎ落としたミニマルなデザインで仕上げたフーデッドジャケット。こちらもブレスサーモ仕様で、袖口は二重構造になっているため風の進入も防ぐ。短丈でレイヤードにも取り入れやすいため、1着あると何かと重宝する。パーカ ¥45,000(+tax) ／ MIZUNO CREATION exclusive by SHIPS

2

SHIPS WOMEN

PEOPLE

photo : Kenichi Yamaguchi
text : Wakako Matsukura



雑誌『VERY』が 今、30代女性に刺さるワケ

「基盤のある女性は、強く、優しく、美しい」

もはや業界内の噂だけにとどまらず、世間的にも「売れている」と認識され、現在も変わらず第一線を走り続けているファッションライフスタイル雑誌『VERY(ヴェリィ)』。 書店でもすぐ目につく場所に置かれ、印象的なキャッチコピーがカバーを飾っているので、ファッション好きの女性なら誰もが知っているはず。ちょっと開いてみようと持ち上げるとずっしりと重い。それもそのはず、400ページ越えの情報量は立ち読みするレベルではない。それでもなぜ、こんな分厚い本をたくさんの女性が手に取り、重たい思いをしながら持ち帰り自宅で読みふけっているのか。今回は、限られた時間でのお話でしたが、思わずその理由に納得！ 誌面作りに対して改めて考えさせられる取材となりました。読み終わる頃には購読したくなることを覚悟の上でお楽しみください。



読者や現場の声に最大限に耳を傾け紙面作りをする

―今回『VERY』編集部を代表してお話を伺わせていただきたいと思います。澤辺さんは現在、デスクをされていらっしゃいますが、まずは『VERY』とはどんな雑誌か教えていただけますか？

「主に30代の女性、ママを中心に読者を持つファッションライフスタイル雑誌です。私が今まで携わった雑誌は、『VERY』で3冊目になるのですが、これまでの雑誌に比べて読者の方々ととても密に関わりながら誌面を作っている印象があります。普段から読者調査（読者の方々と会い、お話を聞き交流を図る）を頻繁に行い、読者アンケートなどを読み込んで、本誌を買っていただける読者の方々の〝今の感覚〟をチェックしながら進行していくところは、これまでの雑誌とは違います」

―読者調査等の結果は、具体的にどうやって誌面にアウトプットされていますか？

「毎回、企画会議では次の号でどんな内容にしていくか話し合うのですが、読者調査から聞いたエピソードや意見から企画が生まれることもよくあります。例えば、冬に発売される号の場合、足を出しているスタイリングでは、基本的にタイツを着用していました。それは過去に読者の方から〝11月はすでに寒いから、タイツを着用しています〟というご意見をいただいたことがきっかけです。ときには〝あの人だったら着るかも〟とか〝あの人たちに刺さるページにしたい〟って、読者を連想して企画を考えることもあります。また私たちと同じくらい動いてくださるライターの方々の存在も大きいです。さまざまな情報を収集しながら、新しい読者を開拓したり。また、実際にママの方も多いので、本誌に登場していただくことも。どんなことがファッションやライフスタイルに求められるか、彼女たちと一緒に誌面を作ることで、私たちもブラッシュアップされていきます。実は本誌の専属モデルであり、昨年からカバーを飾っているタキマキこと、滝沢眞規子さんもライターの方が街角でスカウトしたのをきっかけに、今こうして活躍されている話は有名です」

〝リアル〟で〝等身大〟を大事にしながら読者の〝半歩先〟を行くこと

―では『VERY』らしさとは、どんな部分で発揮されていますか？

「普段から編集長に言われているのは〝一歩先だと行き過ぎ、読者の半歩先を目指す〟という言葉です。〝この季節に本当にこんな格好をするのか？〟、〝子供連れでヒールを履く？〟など、編集部で考え抜き、読者調査やアンケートでの意見を参考にしながら、読者のライフスタイルにとってリアルであるか。等身大のおしゃれであるかを検証しながら、無理のない範囲でトレンド感を取り入れた着こなしを提案するようにしています。例えば一見シンプルなニットだけど、袖がベルスリーブのものを選ぶだけで、今年っぽさが生まれたり。ベーシックなトップスでも、カーキやブラウンを選ぶことで一日置かれるというアプローチをしています」

―11月号（10月7日発売号）では、SHIPSとのタイアップページを掲載していただきましたが、店頭やプレスルームには「『VERY』を見ました」という問い合わせが多数あって、御誌の影響力を強く感じました。

「それは嬉しいですね。仕上がったあのページを見たときに、とてもリアルだなと思いました。例えばコートって、主な出番は冬限定になってしまいがちですが、SHIPSさんのノーカラーコートは生地が厚すぎず着心地もらくちん。カーディガン以上、コート未満で、ストールなども巻きやすそうで、ちょっと銀行へ行くときなんかに、パッと羽織れるところがいいですね。また今回は、グレーにフィーチャーしていますが、グレーって読者が〝今欲しい色〟だと思っていて。定番色ですが、ネイビーやブラックほど引き締め感がなく、顔映りもいい。今年は特に白など、明るい色が着たい年だと思うので、そう言った読者の気分にマッチしていると思います。あとはアイテム一つひとつの値段ですね。読者の方は安ければいいというのではなく、適正価格であることが大事。安く買ったというよりは、賢くいい物を買いたいという気持ちがあるので、そこにフィットしているんだと思います」

より具体的に、より実用的に見せることで雑誌の付加価値を上げることが使命

―1企画、1タイトルごとに説得力があって、本当に勉強になるページの理由がわかりました。いつも『VERY』を読んでいると、ママでもないのに買い物やおしゃれがしたくなる衝動に駆られます。それもやはり根拠や裏付けがあるからこそ、自分のライフスタイルにも落とし込んでみたくなるのでしょうか。

「『VERY』は、〝これがVERYスタイル！〟とか〝こうあるべき！〟というルールは、特に作っていないんです。というのも30代の女性は、ライフスタイルが千差万別で一人ひとり違いますから、らくちんでおしゃれということをベースに、ママスタイルを扱っていますけど、最近では、ママでない読者も増えていて、とても嬉しく思っています。実は私自身も『VERY』の編集部へ来て、選ぶモノが変わったなと（笑）。適正価格のアイテムで、こんなに気軽におしゃれが楽しめるって最高だなって嬉しくなってくるんですよね。仕事や育児で忙しい女性たちは、普段、限られた時間とネットショッピングでお買い物をしていると思うんです。そうすると失敗は出来ない。そのためには、雑誌でどれだけ使えるアイテムであるかを証明してあげないといけないんですよね。だからモデルさんが着て素敵というだけではなく、もう一歩踏み込んで具体的な着回し力や、小物との合わせ方などを提示しなくてはいけない。それが今の雑誌の価値だと思います。今はSNSがあれば、オシャレの概要は分かると思うんです。一方で、雑誌にどんな付加価値を求めるかと言う時に、ちゃんと実践的な内容を見せてあげることは重要だと思うんです。実はバックナンバーから問い合わせが来たりするんですけど、それってずっと本誌を持っていてくださっているということなんですよね。読者の方が〝取っておきたいな〟と思ってもらえる雑誌作りが私たちの仕事ですし、これからの雑誌としての価値だと思います」

―次号の発売が今から楽しみです！本日は貴重なお時間をありがとうございました。





VERY 12月号

澤辺さんの一押しは28ページに渡って展開する巻頭企画「一枚のニットが、冬の私を左右する」と、50ページ近くを割いて特集する「私たちのクリスマス」ですが、その他にも、ファッションだけでなくビューティや読み物企画、連載コラムなど、ボリューム満点の情報が詰め込まれており、編集部が総力を結集して作り上げた、神企画満載。 是非、書店で立ち読みせず（腕が疲れると思うので）お家でじっくり、読んでみてください 。

澤辺麻衣子さん

ファッション誌、ラグジュアリー誌を経て、現在『VERY』のデスクを務める。ファッション、ジュエリー、ビューティページなどをマルチに担当。

3 liflattie ships THINGS

photo : Hitomi Hozumi
text : Yu Konisho

話題の“泊まれる本屋”で、至福のおこもりタイムを。

本とくつろぎ服で過ごす、冬時間。

これから冬本番を迎え、寒くて屋内でゆっくりしたい日もあるはず。そんな日は読書でもしませんか？ということで今回は、オープン以来たちまち話題になり、その反響は海外にまで広がっている「BOOK AND BED TOKYO」へ伺いました。さらにおこもりDAYにおすすめのコーディネートも紹介。寒い冬はお気に入りの服と本で、くつろぎ時間を堪能しましょう。



BOOK AND BED TOKYO

2015年11月、池袋にオープンした「BOOK AND BED TOKYO」。“泊まれる本屋”をコンセプトにした新感覚なホステルの登場は、開業前から話題に。誰もが体験したことがあるであろう「本を読んでいたらいつの間にか寝てしまった」という、幸せな寝落ち体験を提供してくれる。その存在はネットやSNSを通じて国外にまで広まり、海外からの観光客も多いようで、文化交流の場にもなっているという。

宿泊は予約制で、もちろん連泊もOK。ベッドはスタンダードとコンパクトの2タイプがあり、計30床。平日と金・土・祝前日とでは料金が異なる。宿泊の際にはシャワールーム、洗面台、ドライヤーも利用できる。デイタイムの利用も可能で、予約なしで読書時間を楽しめる。ただし、とても人気のため、席数が埋まってしまうと利用できない場合も。

都会の喧騒を忘れさせる落ち着いた雰囲気の空間に、和書はもちろん洋書も。さらに雑誌から漫画、写真集、アート本、旅行本など…幅広いジャンルの本が1700冊並ぶ。センス抜群のセレクトは、あの「SHIBUYA PUBLISHING & BOOKSELLERS」が手掛けていると聞き、思わず納得。月に一度のペースで更新されているとのことで、何度足を運んでも飽きることがなさそうだ。（※本は販売していません）

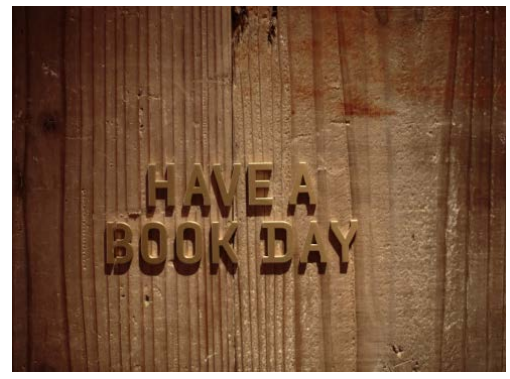
宿店内のラウンジスペースには電子レンジやトースター、コーヒーメーカーが備わっていて、飲食物を持ち込んで食事を摂ることもできる。（※ベッド内での飲食はNG）ほかにもタオルや、パジャマのレンタル（8の付く日限定）も行っている。

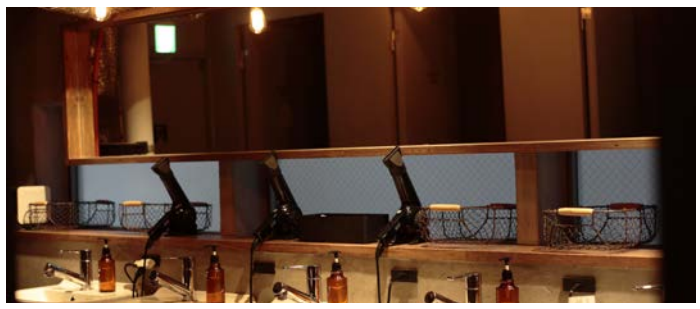
大盛況な「BOOK AND BED」、年内には京都に2号店をオープンさせるとのこと。読書家ならずともこの“幸せな寝落ち”を、ぜひ味わってみてほしい。料金や時間などの詳細はHPでチェック！利用状況はツイッターで随時配信中。

東京都豊島区西池袋1-17-7 ルミエールビル7階
http://bookandbedtokyo.com/
※支払いはクレジットカードと交通系ICカードのみ











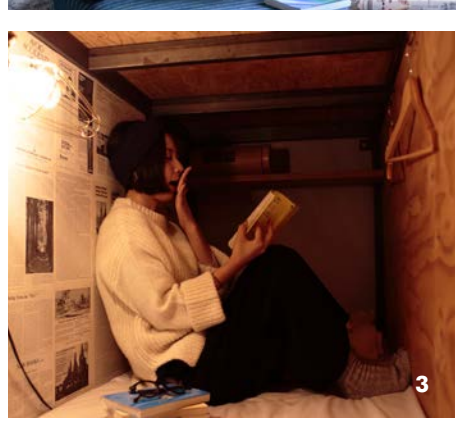


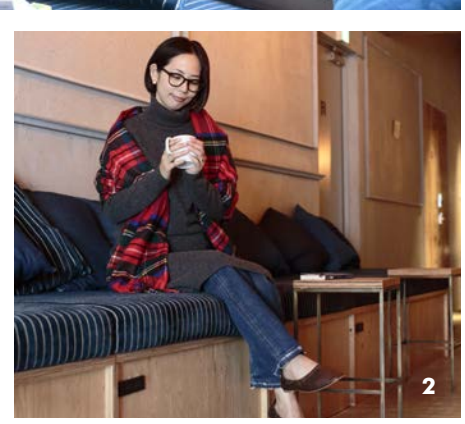












COORDINATE

おこもりDAYにおすすめ

1 ニットキャップとダウンベストであったかコーデ。こんなカジュアルなアイテムには、チェック柄スカートを合わせてスクールガールテイストをミックス。ダウンベスト ¥13,800(+tax)／DANTON、スウェット ¥11,000(+tax)／Mixta, スカート ¥13,800(+tax)／liflattie ships, ソックス ¥1,800(+tax)／liflattie ships、ブーツ ¥20,000(+tax)／BOEMOS, ニットキャップ ¥4,500(+tax)／HIGHLAND 2000

2 タートルニットとデニムのベーシックなスタイルには、カシミヤのチェック柄ストールで色を添えて印象的に。タートルニットワンピース ¥15,700(+tax)／liflattie ships, デニムパンツ ¥52,000(+tax)／chimala, ストール ¥50,000(+tax)／Glen Prince, バレエシューズ ¥18,000(+tax)／liflattie ships

3 ワイドシルエットのニット＆パンツでゆったりリラックス。ポイントに着けたヘアバンドはおしゃれ見えするだけじゃなく、読書の時に気になる髪を抑えてくれるお役立ちアイテム。ワイドセーター ¥13,000(+tax)／liflattie ships, ワイドパンツ ¥15,000(+tax)／liflattie ships, ソックス ¥1,800(+tax)／liflattie ships, ヘアバンド ¥3,000(+tax)／liflattie ships

4 ボーダーニット×ガウチョパンツのモノトーンコーデに、ベレー帽が可愛いアクセント。本が似合うフレンチシックを気取って。ボーダーセーター ¥14,000(+tax)／liflattie ships, ガウチョパンツ ¥13,800(+tax)／liflattie ships, ソックス ¥1,800(+tax)／liflattie ships, ブーツ ¥20,000(+tax)／BOEMOS, ニットベレー帽 ¥3,900(+tax)/Benelli Montacone

4 THINGS

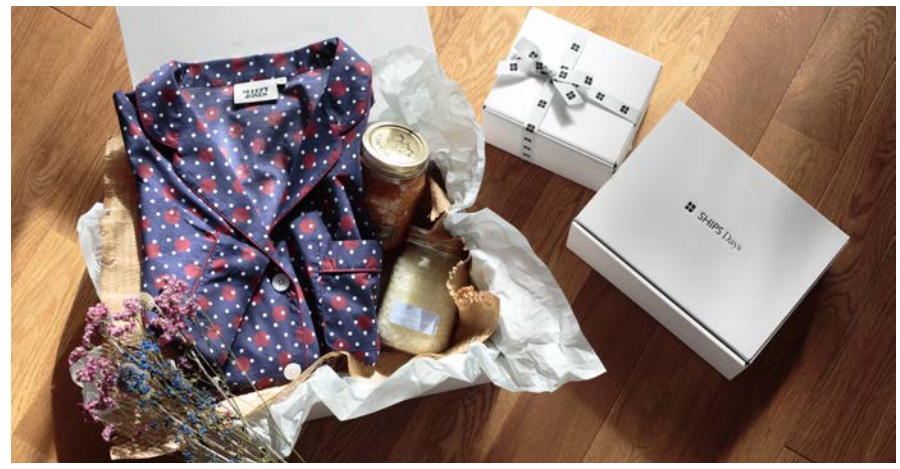
SHIPS Days

photo : Hitomi Hozumi
text : Atsuko Mitsuhashi

大切な人の暮らしを彩る、

SHIPS Daysのクリスマスギフト

家族やパートナー、友達など、大切な人に贈るクリスマスギフトはもう決まっていますか？ SHIPS Daysには、リビング・キッチン・バスルームなどで使えるギフトにぴったりのアイテムがたくさんそろっています。贈る相手の暮らしを想像しながら選ぶギフトは、きっとその人の毎日をより豊かにしてくれるはず。今年も心のこもったギフトで、素敵なクリスマスを過ごしてくださいね。



for LIVING ROOM

01
ちょっぴり寒がりなあの人へ



冬が苦手なあの人に贈るなら、寒さがやわらぐあったかギフトを。英国王室も愛用した毛織物ブランド「AVOCA」のブランケットと、極寒のボーランドで生まれた羊毛製品ブランド「COLD BREAKER」の湯たんぽカバーで、寒い日もあたたかく。見ているだけでほっこりする色合いや素材感も◎。ブランケット ¥12,000(+tax) ／ AVOCA, ボトルカバー ¥4,500(+tax) ／ COLD BREAKER

02
がんばり屋さんのあの人へ



いつでも全力投球のあの人に贈るなら、心と体を休めてあげる癒しギフトを。肌触りのいいもこもこルームウェアは、ヒップが隠れるチュニック丈と袖のラインがポイント。上質なソイワックスとエッセンシャル・フレグランスオイルを使った、ブルックリン生まれのハンドメイドキャンドルで、お部屋が癒しの空間に。キャンドル 各¥2,500(+tax) ／ GOOD CANDLE, チュニック ¥10,000(+tax) ／ SHIPS Days

03
コーヒーにこだわるあの人へ



目覚めの一杯を欠かさないあの人に贈るなら、手挽きのコーヒーを楽しめるギフトを。豆の挽き方を選べる優秀なミルと、リサイクルされるウールを使ったエコなフェルトコースターは、インテリアにもなる可愛らしいデザイン。人気のノルウェーコーヒー「FUGLEN」のフルーティなコーヒーで、1日のはじまりをより爽やかに。コーヒーミル ¥4,500(+tax) ／ Kalita, コーヒービーンズ ¥1,611(+tax) ／ FUGLEN, コースター 各¥800(+tax) ／ ULLCENTRUM

04
雑貨が大好きなあの人へ



お部屋が大好きで雑貨だらけのあの人に贈るなら、飽きずに飾れるインテリアのギフトを。真鍮のフレームとガラスでできたシンプルなフォトフレームは、ハンドメイドによるブランドこだわりの一品。お気に入りの写真を入れて、となりにはバンダナ柄のクマさんを。フォトフレーム ¥10,000(+tax) ／ Bedford Downing Glass, アクセクッション（大） ¥3,900(+tax) 、（小） ¥2,400(+tax) ／ともにBINDU

for KITCHEN

05
モノを大切に使うあの人へ



ひとつのモノを大切に使い続けるあの人に贈るなら、素材にこだわったギフトを。洗うたびに風合いがよくなるリネンのエプロン、エコバッグやインテリアに使える軽くて伸びのいいネットバッグ、創業100年を超えるイタリアの生地メーカーのフェルトスリッパ。どれも使うほどに愛着の湧くアイテムばかり。エプロン ¥4,600(+tax) ／ FOG LINEN WORKS, ネットバッグ ¥1,600(+tax) ／ FILT, スリッパ ¥5,500(+tax) ／ Renudo

06
近ごろ料理に凝っているあの人へ



料理が趣味のあの人に贈るなら、手料理が引き立つテーブルウェアのギフトを。ブルーの星がアメリカンな食器は、おしゃれなニューヨーカーやニューヨークの有名レストランから愛されている「FISHS EDDY」のマンハッタンブループレートシリーズ。いつものダイニングがアメリカンダイナーに早変わり。ダイナープレート ¥3,800(+tax), サイドプレート ¥2,800(+tax), ボウル ¥2,800(+tax), マグカップ ¥3,500(+tax) ／ すべてFISHS EDDY

07
ワインに目がないあの人へ



家でワインをたしなむあの人に贈るなら、体にも環境にも優しいギフトを。シンプルでスタイリッシュなワイングラスは、鉛を使わないノンリードクリスタルガラスでできたもの。ワインのコルク栓を再利用したコースターと一緒に使えば、いつもより優しい気持ちでワインを楽しめるはず。ワイングラス 各¥900(+tax) ／ BOHEMIA Cristal, コースター 各¥380(+tax) ／ THE TOKYO CORK

08
イタリアン好きのあの人へ



イタリアンが大好物なあの人に贈るなら、家でもおいしいパスタが楽しめるギフトを。イタリアのパスタブランドのパスタ&ソースは、そのまま飾っておきたくなるジオメトリックのパッケージが魅力。トスカーナ産のデュラム小麦など厳選素材が使われていて、家で手軽に本格パスタを味わえるのがうれしい。（SHIPS Daysではファルファーレ、スパゲッティ、リングイネを展開。）ファルファーレパスタ ¥1,000(+tax), パスタソース（オリーブ） ¥1,200(+tax), パスタソース（ボルチーニ） ¥1,800(+tax) ／ すべてTHE GEOMETRY OF PASTA

for BATHROOM

09
敏感肌に悩んでいるあの人へ



肌トラブルに悩みがちなあの人に贈るなら、安心して使えるバスグッズのギフトを。ニュージーランドの植物性原料だけを使ったオーガニックなボディソープは、なめらかな肌に仕上がるしっとり感がやみつきに。今治タオルとコラボしたSHIPS Daysのオリジナルタオルと、北欧ブランドのキュートなボディウォッシュを添えて。フェイスタオル ¥1,400(+tax) ／ SHIPS Days, ボディソープ ¥4,000(+tax) ／ ANTIPODES, ボディウォッシュ ¥2,600(+tax) ／ REDECKER

10
上質な服を着こなしているあの人へ



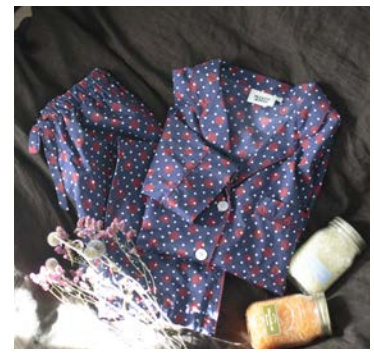
ファッションにこだわるあの人に贈るなら、大切な服のお手入れにぴったりなギフトを。ニューヨーク発の「THE LAUNDRESS」は、石油系原料ではなく植物性原料を使った環境に優しいファブリックケアブランド。ウールやカシミヤ、ランジェリーなど、デリケート素材にも洗える専用洗剤は重宝間違いなし。デタージェント ¥3,200(+tax), デタージェント ¥1,300(+tax), ブラシ ¥1,800(+tax), ボトルケース ¥900(+tax) ／ すべてTHE LAUNDRESS

11
毎日忙しいあの人へ



朝早くから出かけていく多忙なあの人に贈るなら、身支度がちょっぴり楽しくなるギフトを。やわらかな肌触りと丈夫な質感をあわせ持つ今治タオルは、バスルームに映えるグリーンとシックなグレーをチョイス。チェックとアンカー柄が可愛い歯ブラシは、歯科医による設計ならではの抜群の磨きやすさ。バスタオル ¥3,600(+tax), フェイスタオル ¥1,400(+tax) ／ ともにSHIPS Days, 歯ブラシ 各¥500(+tax) ／ MOYO

12
なかなか眠れないあの人へ



眠りの浅いあの人に贈るなら、とびきり上質な眠りを誘うギフトを。レトロなドット柄のパジャマは、芸術家やミュージシャンのリラックススタイルにインスパイアされて生まれたルームウェアブランド「SLEEPY JONES」のもの。眠る前には、天然ミネラルたっぷりの塩を使ったバスソルトで体をあたためて。パジャマシャツ ¥24,000(+tax), パジャマパンツ ¥18,500(+tax) ／ ともにSLEEPY JONES, バスソルト 各¥1,800(+tax) ／ KILNER

5

Khaju

FASHION

photo : Hitomi Hozumi
text : Yu Konisho

旬のファーアイテム、一気見せ！

Fur Collection BEST 25!

今年はなんといってもファーの当たり年。例年以上にあらゆるアイテムがファー素材でリリースされています。ここではそんな旬顔アイテムを、たっぷり25点大公開！ 定番ものから斬新な今年らしいものまで勢ぞろい。一点投入するだけでトレンド感をプラスできるので、お気に入りをぜひここで見つけて。


1


2


3


4


5


6


7


8


9


10


11


12


13


14


15


16


17


18


19


20


21


22


23


24


25

1 ふかふかでボリュームのあるファースヌードは、とても暖かい。ゴージャスにならないようにさらっと取り入れたい。スヌード ¥14,000(+tax)／Khaju　**2** ボリューミーなファー使いがぜいたくなベスト。ブラックのベルトデザインがシャープなアクセント。ベスト ¥135,000(+tax)／CARVEN　**3** スポーティなイメージのブルゾンも、ファーになれば一気にモードな雰囲気に。ブルゾン¥21,000(+tax)／KIFFE　**4** ファー＆フリンジデザインが決め手のポシェット。トレンド感たっぷりのバッグをデイリーに取り入れて。ショルダーバッグ 各¥6,500(+tax)／CONTROL FREAK　**5** フラップにファーをあしらったデザインがキュート。ベージュのソフトなカラーも冬らしくマッチ。チェーンバッグ ¥5,500(+tax)／Khaju　**6** ストラップを外しても使えるコンパクトなウォレットバッグ。ファーを使った異素材デザインがポイント。ウォレットバッグ 各¥7,900(+tax)／CONTROL FREAK　**7** クラシカルなフレンチ女優を気取れそうな、ヴィンテージなムードが漂うノーカラーコート。コート ¥220,000(+tax)／A.P.C.　**8** リバーシブル仕様のノーカラーコート。1着で2通りの着こなしが楽しめてお得な気分。リバーシブルコート 各¥20,000(+tax)／Khaju　**9** 一見無地のシンプルなプルオーバーも、毛足の長いフェイクファーなら新鮮！ 手触りも抜群。プルオーバー ¥8,300(+tax)／Khaju　**10** フェイクムートンに裏地がファーになったフーデッドコートは、可愛さも防寒性も◎。フーデッドコート ¥24,000(+tax)／Khaju　**11** 今シーズンはこんなポンポンチャームも人気。カラーも豊富なので気分に合わせて色違いで揃えてみても。キーチャーム 各¥4,500(+tax)／Khaju　**12** クラッチバッグも今年はファーを選びたい。大きめサイズで持ち手も付いているのでデイリーに使いやすい。クラッチバッグ 各¥13,800(+tax)／helen moore　**13** かかとのファー使いがポイントのフラットシューズは、レースアップデザインもプラスされてトレンド感たっぷり。レースアップシューズ ¥14,800(+tax)／Hermont

14 バレエシューズまでがファー素材で登場！ フレンチシックな足元にトレンドのスパイスを加えて。フラットシューズ 各¥13,800(+tax)／Bisue　**15** ころんとしたフォルム×ファーが動物みたいで可愛いバッグ。リュックとしても使える2way仕様。バックパック各¥7,900(+tax)／Casselini　**16** ファーサンダルも今シーズンの大人気アイテム。レザー×ファーの組み合わせがモード感たっぷり。サンダル 各¥14,800(+tax)／FABIO RUSCONI　**17** 大きなファーのポンポンがキュートなニットキャップ。子どもっぽくなりすぎないように、大人めコーデのハズしアイテムに。ニットキャップ ¥9,800(+tax)／Benelli Montacone　**18** 存在感のあるファーがラグジュアリーな印象。チェーンを外してクラッチにもなるのでパーティにも使えそう。2wayバッグ 各¥12,000(+tax)／Khaju　**19** レディな着こなしに取り入れたいファーティペット。暖かさも上品さもこれひとつで叶うアイテム。ティペット 各¥3,900(+tax)／Casselini　**20** リボンデザインに毛足の長いシャギーニットが可愛い♡くすんだカラーも冬らしくて◎。ヘアバンド 各¥4,600(+tax)／Khaju　**21** 暖かさもあって衿元のポイントにもなるスヌードは、ニット×ファーのコンビデザインが可愛い。スヌード 各¥15,700(+tax)／Hat attack　**22** 長い毛足とボリューム感がアニマルチックな、遊び心あるデザイン。クリアポケットがアクセント。トートバッグ ¥38,000(+tax)／MM6　**23** ブラウンのコーデュロイにファーの耳あてが付いたトレンドデザイン。これ1つで暖かさもおしゃれさもUP! キャップ ¥7,500(+tax)／infilder design　**24** リアルファーのナチュラルなカラー＆素材感が魅力のヘアバンド。程よいもこもこ感が、コーディネートに暖かみをプラス。ヘアバンド ¥12,000(+tax)／Hat attack　**25** いつものヘアスタイルにプラスするだけで、ぐっとおしゃれな印象がアップするファーカチューシャ。カチューシャ ¥10,000(+tax)／Jeniffer Ouellette

SHIPS MAG
http://www.shipsmag.jp
「SHIPS MAG」は春夏秋冬、年4回刊行のオンラインマガジンです。PEOPLE＜いま会いたい話題のひと＞・FASHION＜いま着こなしたいファッション＞・THINGS＜いま知りたいカルチャー＞といった最新トレンド情報を独自の視点で紹介。さらに、毎日のコーディネートに役立つSTYLE BOOK＜気分で選ぶ、着こなしのヒント＞を加えた充実の内容。PCはもちろん、スマートフォンでもお楽しみいただけます。

SHIPS ONLINE SHOP
http://onlineshop.shipsltd.co.jp/
SHIPS ONLINE SHOPは、株式会社シップスが運営する公式オンラインショッピングサイトです。現在、シップスが展開するSHIPS、SHIPS for Women、SHIPS JET BLUE、Khaju、liflattie ships、SHIPS KIDS、SHIPS Daysの7ショップを展開するオンラインならではのメガショップ！

SHIPS LTD.
http://www.shipsltd.co.jp
1-20-15 Ginza, Chuo-ku, Tokyo, 104-0061, Japan　SHIPS INFORMATION CENTER　tel.0120-444-099
本紙に掲載されている商品の仕様及び価格は、予告なく変更する場合があります。又、印刷の都合上、実際の色と異なる場合があります。予めご了承下さい。
Published by SHIPS all right reserved. No part of this paper may be reproduced without written permission by the auther.
http://www.facebook.com/ships.co.jp　@SHIPS_LTD　@ships_official
Copyright©2016 SHIPS LTD.